

# 令和5年度 教育委員会事務局長「政策宣言」達成状況

教育委員会事務局長 久々江 豊

## ○ 令和5年度重要事業

事業名	教育振興基本計画の策定とコミュニティ・スクールの導入
目標	<p>令和5年度を初年度とする第3次射水市総合計画が策定されたことや昨今の教育を取り巻く状況の大きな変化を受け、令和6年度までを計画期間としている射水市教育振興基本計画を見直し、新たな計画を策定します。</p> <p>また、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校づくり」を目指し、コミュニティ・スクールの導入に向けた準備を進めます。</p>
年度末達成状況	<p>第2期教育振興基本計画については、計画策定懇話会を4回開催し、策定しました。</p> <p>コミュニティ・スクールについては、学校、保護者、地域の共通理解を図るための取組を行い、令和6年度から全小・中学校での学校運営協議会の設置、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置する体制づくりに努めました。</p>
自己評価	<p>計画策定懇話会委員の意見を反映し、教育を取り巻く環境の変化を踏まえた第2期教育振興基本計画に基づき、学校教育、生涯学習、スポーツ等に関する様々な施策の展開に努めます。</p> <p>また、コミュニティ・スクールについては、来年度からは当初目標を上回る全小・中学校で実施する体制を整えたところであり、地域の実情に応じたより良い組織となるよう取組を進めます。</p>

事業名	持続可能な部活動、学校の働き方改革の推進
目標	<p>休日の部活動の地域移行については、運動部活動における実証事業により見えてきた課題を整理しながら実施競技を拡充するとともに、文化部活動についても関係団体と協議を進め、全部活動の地域移行に向けた取組を段階的に進めます。併せて教員の部活動従事に伴う多忙化の解消、学校の働き方改革の推進に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>休日の部活動の地域移行については、運動部において今年度新たに3競技を地域移行し、昨年度移行した競技も含め、練習場所の確保や指導者と保護者の連絡手段について方策を検討しました。文化部についてもどのように移行を進めていくか話し合いを行い、実施に向けての協議を行いました。</p>
自己評価	<p>運動部については、新たに3競技を地域移行しており、未実施の競技についても引き続き協議を進めるとともに、文化部についても地域移行に向け関係団体と協議を進めます。加えて教員の部活動従事に伴う多忙化の解消、学校の働き方改革の推進に取り組みます。</p>

事業名	市民のスポーツ活動の推進と文化財の保存活用
目 標	<p>現行のスポーツ推進計画が今年度までの計画期間となっていることから、スポーツ環境の変化や課題に的確に対応し、市民の皆さんがライフスタイルに応じてスポーツ活動に参画できるよう、令和6年度を初年度とする新たな計画を策定します。</p> <p>文化財については、国重要無形民俗文化財である放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画の作成に努めるとともに、県事業に伴う埋蔵文化財の大規模発掘調査を進め埋蔵文化財の保護に努めます。また、市埋蔵文化財センターを活用した出土品公開や体験教室をとおして、埋蔵文化財の普及啓発に努めます。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>第2次スポーツ推進計画については、スポーツ推進審議会を3回開催し、策定しました。</p> <p>放生津八幡宮祭曳山・築山行事の保存活用計画の素案作成や埋蔵文化財の大規模発掘調査・体験教室等を実施しました。</p>
自 己 評 価	<p>市民、競技団体の意見やスポーツ推進審議会委員の提言を踏まえた第2次スポーツ推進計画に基づき、市民の皆さんがライフスタイルに応じて、スポーツ活動に参画できるよう施策の展開に努めます。</p> <p>また、文化財保護団体への支援や国の補助事業を活用した、文化財の保存継承や埋蔵文化財の保護・普及啓発を図り、今後も文化財の保存継承への支援や保護意識の高揚に努めます。</p>